

# 第6回 丹沢大山自然再生委員会 議事録

開催日時：平成20年6月11日（金）

15：00～16：30

会場：産業貿易センター720会議室

## 【開会】

### ○事務局（稲本代理）

時間となりましたので、ただいまから第6回「丹沢大山自然再生委員会」を開会させていただきます。議事進行につきましては、木平委員長にお願いいたします。

### ○木平委員長

本日は、お忙しいところ、丹沢大山自然再生委員会へご出席いただき、誠にありがとうございます。この委員会が始まり約1年半となりました。その間できるところから実行して来たといった1年半だったと思います。しかし、少しずつ様子がわかかってきて、是非本格的な本来の活動に入っていきたいと思っています。したがって、今回各専門部会から本年度のプランをご提示し、皆さんに議論していただきたいと思っております。

それから、前回の再生委員会2月8日でしたが、その時にいろいろ宿題をいただきました。その宿題についてお答えを出し、皆さんのご意見をいただきたい。それに基づいて本年度の事業計画・予算のご審議をお願いしたいと思っております。では早速、お手元の次第にしたがいまして、平成19年度決算報告に入りたいと思っております。

### ○事務局（門倉副主幹）から〈資料1〉の説明

### ○木平委員長

それでは、監事の方からこの決算の監査結果について、ご報告をお願いします。

### ○有川監事

平成20年5月12日、丹沢大山自然再生委員会の監査を行ったところ、収支決算が適正に処理されていることを確認しました。以上です。

### ○事務局（稲本代理）

ありがとうございます。ただいまの監査報告については〈資料1〉の3、4ページに報告書をいただいております。それでは、この決算報告についてご意見等ございますか。なければご承認いただきたいと思っておりますがいかがですか。（異議なし）再度拍手を持ってお願いしたい。（拍手）

ありがとうございます。続きまして、平成20年度事業についてです。先ほど申しましたとおり前回2月8日の本委員会での宿題について、とりまとめる必要があると思っておりますので、お手元の〈資料2〉をお開きいただきたいと思っております。これは前回の委員会が出された主な意見ということです。

前回まず会費の導入について提案しましたところ、次のような意見がありました。この委員会がどのような事業を行うのか、また、経常的な経費はどれくらいなのか。そういうものを整理してから会費の決定を行うべきではないかという意見をいただ

きました。そして、幹事会、県民部会、事務局と相談して今日ご報告することといたしました。それから、会費は委員だけでも、各団体の事情により支払が難しいという意見をいただきました。これについても団体と委員長、中村部会長が対応し調整したいとお答えしました。それから最後に、この委員会が将来どうなるのか、法人化とか事務局の独立とか、検討しているのかという意見もいただき、幹事会等で検討しながら今日に至ったわけです。

その答えの方は<資料2>の後半になります。答えはまず1つ、本委員会は当面の間、神奈川県再生事業の評価、広報普及啓発事業を行っていくことといたします。具体的な事業は後ほど事務局から説明いたします。それから、委員会の組織について将来どうするのかということについては、2、3年を目安として現在の形を継続していく。そして、その中でどのような事業ができるのか明確にしていき、資金面の確保、実施体制などもっと実力を付けながら考え、最終的にはNPO法人のようなものにするのか、法に基づく自然再生協議会にするのか、あるいは現在のまま任意の形でいくのか、時間をお借りして検討するというのが幹事会の結論です。それから会費について、会費はなかなか出しにくいというご意見については、団体の助成金とか実質的な広告費などでも受け入れられるように、柔軟な対応が必要だという結論です。そして、私が直接委員の方にお会いして、結論として会費へ同意をいただき、また、会費以上の貢献をしていただくということで、会費については全面的に賛同していただけるという状況になりました。

そしてもう1つ、具体的にこの丹沢大山自然再生委員会がどのようなことをやっていくのか<資料3>を見ながら事務局から説明をお願いします。

#### ○事務局（福島技幹）から<資料3>により、整理した委員会の資金の流れ等説明

##### ○木平委員長

これまでの説明について、ご質問ご意見いただきたいと思います。この考え方に賛同いただければ、今年度の具体的な提案に進みたいと思います。よろしいですか。それでは、今後の事業の展開について具体的に評価と普及啓発事業を行い、活動資金を求めていくこと、本年度から新たに委員会の会費を導入すること、以上について、ご了解いただけますでしょうか。（異議なしの声）（拍手）本件はご承認いただきました。

さて会費は、新たに規則を作って実施し、それに伴い「委員会の設置要綱」も変更したいと思います。これについて事務局から説明をお願いします。

#### ○事務局（門倉副主幹）から<資料4>の説明

##### ○木平委員長

ただいま事務局から説明がありましたが、入会や役員の任期についての改正も含めてのご提案となります。会費は、委員会として自主的な事業を実施するのに必要な資金源として会費を徴収する。ただし、徴収に当たっては柔軟な対応を行うと行うこととさせていただきます。これらについて、ご質問等ございましたらご発言をお願いします。

##### ○丹沢山小屋組合・松田委員

先日委員長にも来ていただきましたが、金額については、NPO1万円、企業・

団体5万円ですが、団体の5万円は無理な場合があるかもしれませんが、その場合どうしたらよいですか。また、委員長が特に認める場合という意味がわかりにくいので教えていただきたい。

**○木平委員長**

この団体は、個人もあり企業もありますので、必ずしも現金が出しにくいということもあると思います。たとえば、本来委員会がPR費を出すべきところ、自主的に広告を出してPRしていただくなど考えられます。このように、会費の出し方は柔軟にして行かざるを得ないのではないかと、このような主旨になります。

**○丹沢山小屋組合・松田組合長**

了解しました。

**○木平委員長**

会費については、いろいろご意見があると思いますが、いただいた会費をどのように使っていくかが、これから毎年毎年の委員会での議題となると思います。それでは、会費の変更についてご承認いただけますか。(拍手)ありがとうございます。では、会費については、準備出来次第、納付書をお送りさせていただきます。それでは、さきほど宿題の残りですが、20年度の普及啓発事業の具体的な内容については、県民事業専門部会で検討しておりますので、部会長の中村さんから報告・提案するところですが、本日急用ができてご欠席ですので、事務局から報告させていただきます。

**○事務局（門倉副主幹）から〈資料5〉で普及啓発事業の説明**

**○木平委員長**

出張講座について、実際に行かれた有川さん、一言ご経験談をお願いします。

**○有川監事**

3年生と4年生に出前授業を行い、子供達は大変喜んでくれたんですが、私は自分たちがやってきました夏休み親子探検隊や登山者数調査、水質調査、そういったものをやっているということで子供達に説明したんです。子供達にやはり人気があったのは探検隊で、説明が終わった途端に手が上がりまして、いつやるんですか、どうやって申し込めばいいのかなど質問が出てきました。子供達は自然に触れ合う機会がないといいますが、やはり自然が大好きなんだなあだなというのがよくわかりました。私たちは子供たちに水の大切さ、水を育んでいる丹沢の大切さ、それだけではつまらないので目玉といたしまして化石の見学などもしております。余談になりますが、大変残念なことに先日第1回の下見を行ったところ、子供達が一番綺麗だねと喜ぶサンゴが切り取られて持ち去られていました。大変悲しい思いがしました。門田先生も35年目にしてこういうことが起きましたねと大変がっかりなさっていました。神奈川県天然記念物ですし、神奈川県、山北町にも対策を講じていただきたいと思います。先日も八ヶ岳での観察会で、土曜に26株あったホテイランが、日曜日には1株残して全部無くなったそうです。このようなことが丹沢でも起こっています。是非対策を考えていただきたいと思います。

**○木平委員長**

ありがとうございました。出前講座の方もお願いします。出張講座を行うに当た

っては、委員も勉強しなければいけないということで、6月20日には、サントリーさんが非常にしっかりした出張講座やってらっしゃるということですので、モデルとして見学させていただくことになっています。ご参加の方もよろしくをお願いします。

それでは、次に今年度から他の団体との共催・後援という形で支援を行うこととなっております。これについて、事務局から説明をお願いします。

#### ○事務局（門倉副主幹）から＜資料6＞で主催、共催、後援の説明

##### ○木平委員長

ただいまのように、5月までの分は事後承認、これから行うものも多くの団体と共催或いは後援という形で、一緒にやらせていただきたいと思います。もし今後新しい企画ができましたら、申し出ていただければと思います。このようにこの委員会は、それぞれの団体と一緒にやらせていただくというのが、大変心強いこととなっております。私ども大きな宣伝力は持っていませんが、予告や事後報告をいただければ、ホームページに載せますので、事務局に御連絡いただきたいと思います。これについて何かご質問・ご意見ありますでしょうか。

##### ○日本野鳥の会神奈川支部・石井委員

後援等になる項目1～5に、我々が継続して行っているような「調査」がないが、調査活動との関係はどのように考えればよいでしょうか。

##### ○木平委員長

団体として再生委員会と関わる必要があると判断されるなら、報告してもらえばいいと思います。そうでなければ、地主さんや国有林に直接コンタクトして必要な手続や協力をやっていただければよいと思いますがいかがでしょう。

##### ○日本野鳥の会神奈川支部・石井委員

調査という項目が入っていないので、再生委員会として、積極的に情報を共有した方がいいという意味があるのなら、イベント等の内容に研究調査活動を入れた方がいいという意見なのですが。

##### ○木平委員長

情報としてはいただきたいと思います。調査自体が後援等の必要があるかどうかは団体側の判断になります。

##### ○事務局（福島技幹）

資料6-1で利用実態調査や水質調査など調査も「その他」で入っておりますので、出していただければ、事務局でも整理しますのでよろしくお願いします。

##### ○木平委員長

普及啓発事業はここまでにして、次はもう一つの丹沢大山自然再生委員会の大きな仕事である再生事業の計画づくり、あるいは評価を行う事業計画・評価専門部会の、羽山事業計画・評価専門部会長から報告をお願いします。

##### ○羽山事業計画・評価専門部会長（以下、羽山部会長）

それでは、私の方からご報告させていただきます。本来であれば、県民部会と同じように事業計画案をご報告さしあげるところですが、まだいつどのような具体的な事業をお示しできないことを最初にお詫びしたいと思います。どのような方針で進めるかについては、＜資料7＞を使ってご説明したいと思います。早速で

すが、タイトルがわかりにくい表現になっているので修正させていただきたいと思  
います。「丹沢大山自然再生計画における事業評価の進め方について」（案）という  
ことで、ワークショップの説明と言うことではなく基本的な方針案ということで説  
明したいと思います。

さて、昨年度から県事業の評価をどのような形で進めていくのか、評価した結果  
をどのように各事業、県の政策に反映していけるのか、その仕組みについて議論を  
して参りました、要は非常にたくさんの再生事業が実施されております。個別の事  
業については、各担当部局がモニタリングを行い、それぞれの進捗について見直し  
なりやっているわけですが、この専門部会としては、どのような役割を果たすべき  
かと考えますと、各個別の事業を総合的に解析していく、今まではバラバラに行わ  
れていた評価を全体としてどう組み合わせ、個別の事業を発展させていただくのが  
よいのか、そういう視点で分析を進めていくことが確認されました。

そして、従来のように、数時間集まって数時間の議論では進んでいきませんので、  
総合調査当初から繰り返し議論をしながら物事を決めてきた特徴のある組織ですの  
で、原点に立ち返ってワークショップ方式を積極的に取り入れながらやっていく必  
要があるということが確認されました。皆さんお忙しい中、何日にも渡って行うの  
は厳しいで、少なくとも丸1日間くらいの会期の中で行い、場合によってはそれを  
2度3度と繰り返しながら、1つの問題について結論を出していくという進め方が  
方針として決まりました。ただその結果を、どのように今後の施策に反映させるか  
を考えると、1つは予算にタイミングを合わせるべきだろうということで、現状の  
スケジュールでは、平成22年度予算への反映を目指してはどうかということで、  
来年の夏くらいを目標に定めて、テーマ設定しながら総合解析を進めていくこと  
を検討しています。

今のところ、最初の取っ掛かりとしては、最もデータが豊富で、しかも水源環境  
にも大きな影響を与える森林の問題、そしてその森林に一番大きな影響を与えて  
いるシカの問題、この森林管理とシカの管理、これをどう統合化していくのか、こ  
の点について、まず議論を進めていこうということになりました。具体的には、様々  
な科学的データを元に、現状の事業を進めていったらどのような成果が見込めるの  
か、将来予測モデルを作るということになると思いますが、それ以外のオプション  
を選んだ時はどのような効果が見込めるのか、このようなモデルづくりを行いな  
がら、当然専門家による作業グループを作ることになると思いますが、多くの関係  
者とのキャッチボールを行いながらということは今のところ考えております。

7月29日に次回の専門部会を予定しておりますが、ワークショップについては、  
冒頭から詳細な議論と言うよりも、久しぶりのワークショップなので、なるべく様  
々な方にお集まりいただいて、森林とシカに関わる課題出しを中心に行い、それを  
元に、できたモデルを使って2回目という進め方と思っております。第1回は概ね  
9月くらいにできればと考えており、これから日程調整させていただきたいと思っ  
ております。

#### ○木平委員長

事業評価というものは丹沢大山自然再生委員会の最大の役割です。実際には評価

するのは大変なことです。ワークショップ楽しみにしております。

これについてご質問ございますか。なければ、これまでの両部会からの提案を前提にいたしまして、議題2 平成20年度事業計画・予算（案）についてご審議をお願いいたします。説明を事務局からお願いします。

○事務局（門倉副主幹）から＜資料8＞で事業計画・予算の説明

○木平委員長

ただいまの説明につきまして、ご質問等ございましたらご発言をお願いします

○日本野鳥の会神奈川支部・石井委員

今年からお金を出す立場になります。我々NPOのホームページは年間3万です。60万円払うのはどうかと思います。NPOは皆ボランティアで更新しています。ここにいる会員の方で協力していけば、金額は一桁下がるのではないですか。

○木平委員長

会員が直接やれば、もっと安いお金でやれるのではないかという意見ですが、それはそのとおりですが、私たちの会はNPOではなく、もし我々がやるとなると誰がやるんだということもあります。この4月から週1でアルバイトを雇用しましたが、今は県の事務局にかなりおんぶしている状況です。

○日本野鳥の会神奈川支部・石井委員

ホームページの更新作業も含めて事務局員にやってもらえばどうか。広報活動に60万掛けるよりも、その分人件費に持っていった方が、他の活動もさかんになるのではないのでしょうか。

○木平委員長

ご主旨はわかりますが、この委員会の性格や実力からして今すぐには困難です。他にございますか。（異議なし）ありがとうございます。これからも皆さまご支援いただきたいと思います。

それでは、議案の2「平成20年度事業計画及び予算（案）」について、ご承認をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。（異議なしの声）本件はご承認いただきました。

以上をもちまして議案についての審議は終わります。あとはその他ということですが、事務局から何かありますでしょうか。

○事務局（門倉副主幹）から＜参考資料1＞＜参考資料2＞の説明

○木平委員長

学術報告書の残った分の取扱いについて幹事会にお任せいただきたいということです。よろしいですか。それでは、最後になりますが、お集まりのこの機会を利用させていただき、今後丹沢大山自然再生委員会でもワークショップなどで評価を進めていくわけですが、県の自然再生事業につきまして、今までのところどんな成果が上がっているのか状況をご紹介いただきたいと思います。

○緑政課・入野主査からパワーポイントで県事業の状況説明

○木平委員長

県が進めている事業の一部を良く理解することができました、ご質問があればお受けいたします。

**○渡邊委員**

お教えいただきたいのですが、今ご説明いただいた3地区以外の稜線なども整備されているように思いますが。

**○入野主査**

統合再生の説明でお示ししたのは、一部をピックアップしているものですので、県としては他の場所でも施策を進めております。

**○木平委員長**

よろしいですか。では、これにて第6回の再生委員会を終了いたします。あらためて申し上げますが、この委員会は皆さまから多くの貢献をいただいて成り立っております。また多くの部分を事務局の県緑政課、保全センターに負っております。ありがとうございます。それでは、事務局にお返しいたします。

**○事務局（稲本代理）**

本日はこれもちまして第6回自然再生委員会を閉会させていただきます。皆さまありがとうございました。（拍手）

以 上